

第10章

残すお墓はメンテフリーの 「あ〜と母碑」に改葬する

【第10章の狙い】 承継者がいて、残すお墓はそのままでよいのでしょうか？ 残すお墓のメンテナンスが一番の問題です。墓地の雑草を抜く、枯れた生花の除去、墓石のほこりの清掃など、こまめにしないと荒れてしまいます。このままでお墓を承継させると、承継者も困ってしまいます。そこで現在のお墓をメンテナンスフリーに改葬あるいは改修して承継してもらう必要があります。

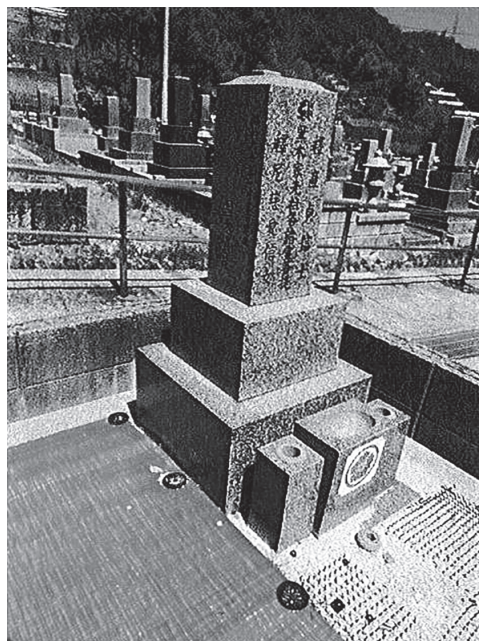
筆者はメンテナンスフリーの「あ〜と母碑」を開発しました。巻末に相談受付を掲載しています。

この章では「あ〜と母碑」の内容を説明しています。

- ①「ステップ1・SK防草工事」は、墓地の土の部分に雑草が生えますので、これを防草するものです。筆者は、土の部分をタイル張りして、土をなくすることにしました。これをSK防草工事と呼んでいます(95)。
- ②「ステップ2・SK花台工事」は、生花を入れる花台を撤去し、台形の石に入れ替えます(96)。生花のお供えは無しにします。
- ③「ステップ3・SK系譜工事」は、墓標をなくし、墓石と一本化するものです。系譜をアクリル板にプリントし、それを墓石に金具で取り付けます(97)。
- ④ステップ4やステップ5の工事もありますが、お好みにより進めてください(98・99・100)。

92 残すお墓は「あ〜と母碑」にする

<改葬前のお墓>



- ★吉相墓は、右側から左側に順次夫婦の墓石を建立していく方式
- ★広い墓地が必要となり、雑草が生え、毎回の掃除が大変
- ★承継者がいるお墓はメンテナンスフリーに改葬して渡す

改葬の経過

1971（昭和46）年1月に、筆者の父が亡くなり、父が建立していた、三滝のお墓を承継しました。

1979（昭和54）年7月に、友人が造成した5kmぐらい離れた戸坂の霊園の永代使用権を取得しました。その場所に同年11月に、京都の石材店で吉相墓を建立し、改葬しました（1回目）。しばらくして、戸坂の吉相墓は良くないと言われ、1985（昭和60）年1月、三滝に、福山の石材店で再度、吉相墓を建立し、改葬しました（2回目）。

この墓を子供に承継させるに当たり、メンテナンスフリーにするため、今回、2022（令和4）年11月に「あ〜と母碑」として3回目の改葬をしました。異常とも言える改葬ですが、筆者としましては、お墓の研究を続け、その都度、改葬の理由がありました。

改葬前のお墓の問題点

改葬前のお墓は、筆者の両親のお墓が一基、左の上の写真です。手前に筆者の妹の地藏さんが一基、下の写真です。吉相墓は子供、孫、が亡くなると両親の墓の左側に一基ずつ順次建立していく方式です。

仏教の見直しをしたところ、お墓には生命が宿るものでないことを知り、3回目の改葬で吉相墓を止めて、一基だけにしました。

また、土の部分は、雑草が生え、イノシシが荒らし、さらに犬がフンや尿をするので困り、ブルーシートをかけていました。

承継者がいるので改葬する

お墓の承継者がいなければ「墓じまい」をしますが、筆者の場合は、承継者がいますから、メンテナンスフリーのお墓に今回改葬しました。

承継者が毎月、お墓参りすることは考えられませんが、雑草が生えないように、タイルを貼り、生花や線香もやめにしました。

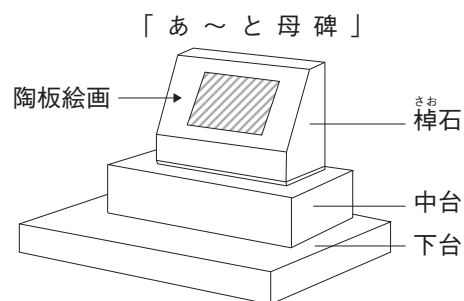
この方式がこの章で述べる「あ〜と母碑」です。

93 「あ〜と母碑」はメンテフリー

宮内淳著「あの世が教えてくれた人生の歩き方」サンマーク出版から下記のとおり要約した。(番号は筆者がつけた)

- | | |
|---|--|
| ① | あの世からの応援を受けるには「お母さん」とのつながりを大切にすること。この世に生を受けた誰もがお母さんのおなかから生まれてくる。生まれてすぐ、へその緒はハサミで切られてしまうが、肉体だけではなく、「見えないつながり」はずっと続いている。 |
| ② | そして、その母親はそのまた母親とへその緒でつながっていて、自分は母親のへその緒を通して、何千、何万という自分の先祖のへその緒とつながっている。 |
| ③ | また、みなさんの「運」も、見えないへその緒を通して、「あの世」からやってくる。「あの世」の先祖たちは、自分たちに、いいエネルギーを持ってきてもらうために、へその緒を通して、「この世」の子孫を応援している。 |
| ④ | 1日1度でいいので、母親が自分をかわいがっていた瞬間を思い出すこと。「お母さん、大好き」という気持ちになると、へその緒がつながる。 |
| ⑤ | 一方、父親にはへその緒がないので、子孫とつながることができない。 |

上記の記述から、お母さんにつながるため、「母碑」と命名した。「母碑」の前では、母親だけでなく、父親とも交流し、会話をしてください。



- ★宮内淳先生には、死後のお母さんからメッセージが届いてくる
- ★母親と子どもは永久に「ヘソの緒でつながっている」とのこと
- ★母親とのつながりを大切にするため「あ〜と母碑」と命名した

宮内淳先生の紹介

1950年生まれで、現在73歳。宮内先生が出演していた「太陽にほえろ！」は、1970年代から80年代半ばにかけてテレビ放映された、石原裕次郎さんをボスとする「七曲署」の刑事たちの姿を描いたドラマです。全盛期は視聴率40%を誇った人気番組でした。

お母さんとの約束

宮内先生のお母さんが、亡くなられる数年前に、宮内先生はお母さんに次のようをお願いをしました。

「普通に考えたら、おふくろは俺より先に死ぬんだから、ちょっとお願があるんだけど、もしおふくろが死んで、向こうの世界があったなら、それを俺に教えてほしい」

すると、お母さんは笑いながらこう言われました。

「おかしなことを言うわね。死んだあとの世界なんてあるわけないじゃないの。人間は死んだら終り、それっきりよ」唯物論者のお母さんはあの世があることなど、全く信じていなかったのです。

お母さんは、しばし考えこみ、「わかった。もしあったら、必ず教えるわ」と約束してくれたそうです。

それから、お母さんが亡くなられ、不思議な現象がひんぱんに1年間続いた後、イメージのようなものが突然、宮内先生の頭にひらめくようになり、お母さんが直接メッセージを届けるようになりました。

このお母さんからのメッセージが宮内淳著「あの世が教えてくれた人生の歩き方」(サンマーク出版)にまとめられています。

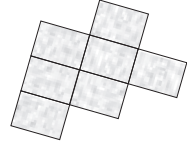
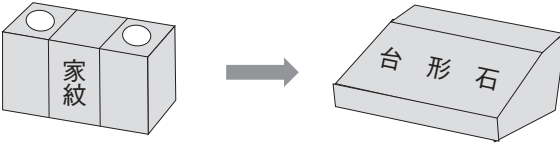
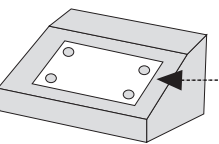
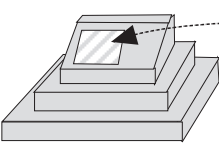
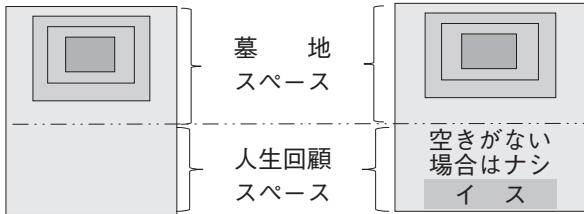
「母」という字をもらいました

左の表のとおり、お母さんとは亡くなった後もヘソの緒でつながっており、ヘソの緒を通してご先祖様ともつながっているそうです。

筆者の「あ〜と母碑」は母の字を頂き、命名させて頂きました。

94 ステップ5までの工事を自由に選択

○ 「あ〜と母碑」のトータルメニュー ○

ステップ 1 (95)		土の部分を残さず 完全に床タイルを 張り付ける
ステップ 2 (9)		
ステップ 3 (97)		亚克力板 家系譜
ステップ 4 (98)		陶板絵画を 貼り付ける
ステップ 5 (99)		墓地 スペース 人生回顧 スペース

- ★承継者がいて、残すお墓は「あ〜と母碑」に改葬・改修する
- ★メンテナンスフリーにするSK防草工事・SK花台工事は最優先
- ★SK系譜工事は、亚克力板の系譜を墓石に取り付けるもの

承継者がいて、残すお墓は「あ〜と母碑」への改葬・改修が必要です。この狙いは、メンテナンスフリーにしておいて、承継者に墓守りの負担を軽減することにあります。お墓の承継を頼む両親の心を安め、子孫も気持ち良く承継してくれるための工夫です。

筆者は「あ〜と母碑」にして、掃除が10分で済むので、維持するのが楽です。

「あ〜と母碑」は、皆様方の墓地の広さに応じて、左のとおり、ステップ5までの工事を自由に選んでください。

メンテナンスフリーの工事

ぜひとも、メンテナンスフリーの工事だけは済ませてください。ステップ1は土の部分を残さず、床材でコーティングし、雑草を生えなくする工事です。

ステップ2は、花立ての除去です。生花は、夏場では1日で枯れてゴミになります。花立てを除き、お花のお供えをやめます。

家系譜・陶板絵画の取付

ステップ3は、墓標をなくしてお墓と一体にする方式です。

ステップ4は、棹石に陶板絵画や亚克力板に、写真・書・絵画などを貼りつけるもので、この部分を「あ〜と」と呼んでいます。これまでのお墓の陰気なイメージを一変させます。

人生回顧のスペースを設置する

筆者の「あ〜と母碑」には、「人生回顧」と「言動修正」を隷書で彫り込んでいます。

人生回顧はあの世で必ず行われる任務のようですが、死んでからは修正ができません。生きているときに、今の自分の生き方を見直し、悪いところは直ちに言動修正すれば、良い方向に修正が可能です。

参拝者が反省するためのスペースです (95~99)。

95 ステップ1・SK防草工事



ステップ
1

墓地全体の土の部分をなくする。
床材を貼り付け雑草を生えさせないようにする。



- ★お墓を承継する場合は土の部分をなくして雑草を生えなくする
- ★「あ〜と母碑」の場合はタイルを敷き詰めるのを採用した
- ★床材は他にも、歩道に貼るもの・ブロック・石材の板などさまざま

吉相墓の墓相からは土の部分を残すのが吉とされています。それは墓の掃除をこまめにやって、墓参りの回数を増やそうという考えからだと思えます。

ところが、この多忙な生存競争の社会で、お墓の掃除にかかりつきりというわけにはいきません。特に働く年代層には無理な話です。

田舎で自宅に近いお墓であれば頻りに顔か出せますが、都市内に住んでいると墓苑までが遠く、頻りに行くことはできません。

お墓を承継する場合には、ぜひとも土の部分をなくして雑草が生えないようにしてください。

固まる土がある

DIYショップに行きますと、自宅の庭用として、固まる土を売っています。用途は雑草の防止や猫のフンや尿をさせないようにするためです。砂状のものをまいて、水をかけて固まらせます。これをお墓に使うことも可能ですが、日時が経つと黒ずんできてひどくなります。

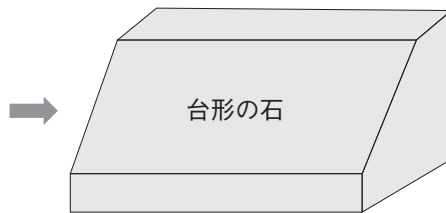
砂利をばらまく

見渡しますと、30%~50%ぐらいの墓地に砂利が敷かれています。最初のうちは雑草が生えていませんが、少し年数が経ちますと、スキ間から雑草が生えてきて、これは始末がつかなくなります。雑草をとるのが大変になり、まだ土のほうがましなくらいです。

床材を敷き詰める

「あ〜と母碑」の場合はタイルをおすすめしています。タイルを貼る前に下地をモルタル（セメン）で創り、それだけでも雑草は生えませんが、コンクリートだけですと見栄えが良くありません。平らな下地の上にタイルを貼ります。床のタイルはカラフルで明るい色が使えます。タイル以外にも床材は歩道に貼るものや、ブロック、石の板などさまざまな素材があります。

96 ステップ2・SK花台工事



花立て、水入れなし

ご参拝者の皆様へのお願い

本日はお参りいただき、ありがとうございます。

このアート母碑はメンテナンスフリーになるように設計しております。

ご参拝者の皆様には、お花・ロウソク・線香・お札・灯ろう・お供えなどをご遠慮いただいております。

ご持参された場合は、恐縮ですが、お持ち帰りくださいますようお願い申し上げます。

ゴミのない清潔なアート母碑として、末永くお守りくださいますようお願い申し上げます。

2022年11月 建立者 二代目 黒木貞彦

- ★生花を供えるとすぐに枯れてゴミになり、中の水は悪臭が出る
- ★花立ての台石を撤去し、花立てのない台形の石にする
- ★生花のお供えをご遠慮いただくため、案内文を表示すること

現状のお墓の目的

平安時代には板牌しかなかったお墓が、江戸時代になり、お墓の目的が加重され、本来の仏教の原点から誤った方向に進みました。

つまり、納骨のほか、お墓に生命が宿ると考えるようになり、遺族が供養の主役となり、故人との会話をする場所となりました。

実際には、お墓には生命は宿ってはおらず、供養は効果がないこと、故人との会話は、できれば集中できる場所で行うべきであることが判明しました。

そこで、現代のお墓の目的を「納骨」と、死の準備として「言動修正」の場所のみに限定し、他は一切廃除することにしました。

案内文の表示

江戸時代からのお墓の風習をガラリと変えるものですから、ご親せきにはあらかじめのお手紙を出して周知しておき（文案は99項を参照）、さらに墓地に左下のような「案内文」を表示しておくことと安心です。

筆者は左のように陶板を作成し、お墓の前の納骨場所（カロート）のフタの上に貼りつけています。

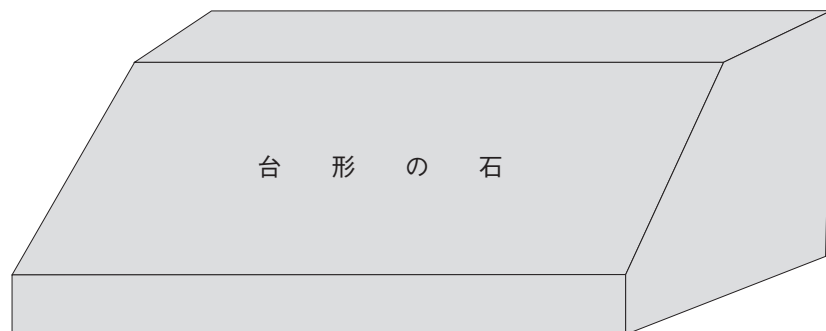
表示する場所でお困りかと思いますが、墓石の側に小さな石に張りつけておくとか、ブロックのヘイに張りつけるとか、工夫をしてみてください。

花立てを台形の石にする

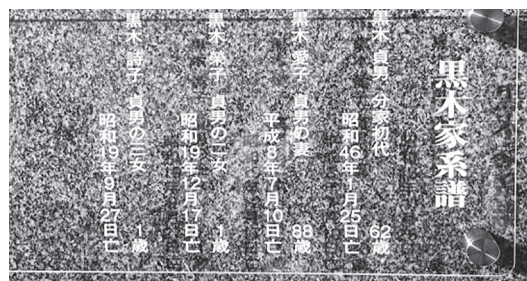
お墓に生花をお供えすると、生けたときはキレイですが夏場では1日で枯れてしまいゴミになります。中の水は腐って悪臭が出ます。

そこで、生花のお供えをしないための対策として、左のように、花立て、水入れのない台形の石に取替えします。これで花入れはなくなるため、最初のお参りのときには、お持ち帰りいただくこととなります。参拝者に対する失礼を左の案内文で償います。

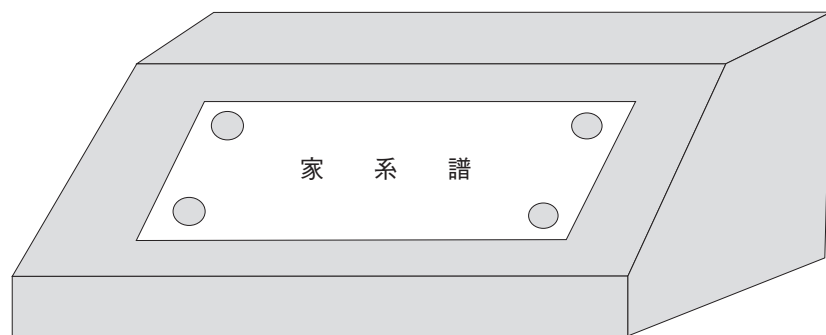
97 ステップ3・SK系譜工事



十
+
亚克力板



||



- ★普通は棹石に死者の俗名、続柄、死亡年月日、享年を刻む
- ★墓地が広ければ墓標（墓誌）を作り正面から右側に設置する
- ★系譜をフィルムに印字し、亚克力板に貼り、花台にネジ止め

棹石の左右に刻む

最も多いパターンは、棹石の両サイドに、亡くなられた人の俗名、続柄、死亡年月日、享年を刻む方式です。

新しい仏様が出た都度、刻む作業が必要になります。通常は棹石を石材店までもち帰り、刻んだ後、据え付け作業をします。石材店まで持ち帰らずに、墓地の現場で作業をすることもありますが。

墓標を作る

墓地が広い場合には、お墓の正面から見て右側に墓標（霊標・墓誌）を建てて、俗名、続柄、死亡年月日、享年を刻む方式もあります。

亚克力板を取り付ける

左の図表はステップ2で花立てを撤去して、その後に台形の石を設置しましたが、その台形の石の上に、亚克力板の家系譜を4本の金具でネジ止めする方式です。

亚克力板の裏に、俗名、続柄、死亡年月日、享年をフィルムに印字し、そのフィルムを亚克力板に貼り付けます。

戒名は不要（57）ですから、表示しておりません。

この亚克力板は、新しく亡くなられた人が出たときは、全く新しく、フィルムに印字し、亚克力板を新しく作成し、亚克力板を入れ替える方式を考えています。

死亡後、33回忌（または50回忌）が済んだ人の記録は抹消しても良いでしょう。

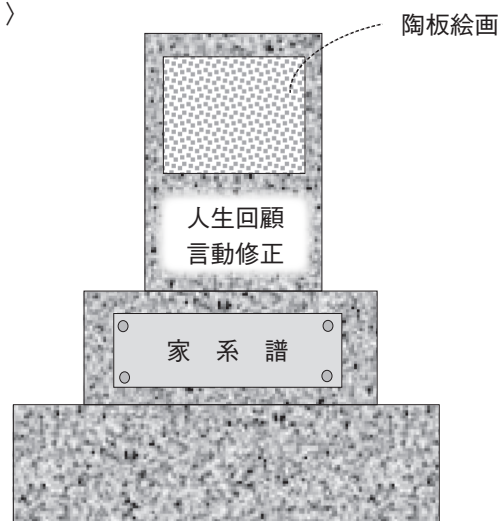
新しく作り替えても3万円程度ですから、石に刻む手間賃よりも安いと思われれます。

ここでは、亚克力板の貼りつけを台形の石としていますが、あまりに地盤に近い場合には、棹石の下の中台に貼りつけても良いでしょう。墓石のバランスを見て判断してください。

98 ステップ4・SK意匠工事



〈和墓の例〉



- ★筆者は棹石に陶板絵画やパネルを貼る意匠登録を申請中
- ★意匠権の使用料として墓石工事代金の3%をお支払いただきたい
- ★書・絵画・写真などをプリントしたアクリル板をネジ止めする

筆者は、^{さお}棹石に、陶板絵画やパネルを貼る意匠登録（デザイン）を申請中です。この意匠権の使用料は、墓石建立代金の3%（消費税別途）とし、最低額を3万円とさせていただきます。石材店からお支払いいただきますようお願いいたします。

陶板絵画の貼付

陶板絵画とは、絵画を陶板に焼きつけたもので、セラミック加工した絵画です。耐用年数は2000年といわれています。

最も簡単な入手方法は、鳴門市の大塚国際美術館のミュージアムショップで販売しているものを買う方法です。残念ながら、種類が少ないのが難点です。その他、ネットで「陶板絵画の販売」で検索しますと様々な作品が流通しています（コラム10）。

左の写真の筆者の「あ〜と母碑」の陶板絵画はネット購入したものです。700角の大きさのため、逆に棹石が大きくなり、その費用が多くなり結果的に高くつきましたが、迫力は満点です。

和墓でもOKです

下のように、和墓の例を表示しています。陶板絵画は、小さめのものを棹石の上部に貼りつければ、明るいお墓に仕上がります。

アクリル板方式もあります

デザインを開発した当初は、アクリル板に「ありがとう」と書いたフィルムを裏に貼りつけて、4本のネジで止める方式を考えました。

この場合には、自作した書や絵画、写真などフィルムに何でもプリントできますから、取替えが自由にできるメリットがあります。

ただ、屋外の広告の看板と同じ素材ですので、耐久性に問題があります。直射日光により劣化し、陶板のように2000年もつというわけにはいきません。せいぜい10年程度でしょうか？

製作費が安いので、色褪せたら、作り直すことになります。

99 ステップ5・SK回顧工事



お墓の目的1	お墓は死者の納骨をする場所
	<p>納骨をするだけで、死者の生命は「あの世」に旅立っていく。死者の生命は、お浄土に行き、お墓にとどまてはいけなないので、お墓での供養は一切行わないこと。</p> <p>そのため、献花、ロウソク、線香はお供え出来ませんので、ご遠慮ください。</p>
お墓の目的2	お墓は参拝者（生者）が生き方の反省をする場所
	<p>お墓は、参拝者が、お墓で先祖の遺骨に接し、自分も早晚確実に死ぬことを自覚し、参拝者が「人生回顧」をし、「言動修正」をする場所。</p> <p>この度のお墓は、参拝者がお参りしたくなるように、芸術性の高い「あ〜と母碑」とした。</p>

- ★「あ〜と母碑」の目的を親せきにあらかじめお手紙で知らせる
- ★新しい目的の人生回顧・言動修正は参拝者に対するもの
- ★墓地が広い場合に、イスを置いて、参拝者が人生回顧する

今回の筆者のお墓の「あ〜と母碑」への改葬は、世間一般には、未だ認知されていませんので、お墓参りに来られた方が驚かないように、完成後には、ご親せきには、左の下のお墓の目的の2項目を入れたお手紙を出してください。

お墓の目的1・納骨の場所

お墓の目的は、亡くなった方の遺骨を納める場所です。江戸時代に変化した死者の生命がお墓に宿るという考えは、間違っています。死者の生命はお浄土に行き、お墓にとどまては、浮遊霊となって、永久にあの世に行けません。

したがって、お墓での供養は一切行いません。献花、ロウソク、線香はご遠慮いただきたい旨をお伝えください。

お墓の目的2・人生回顧・言動修正の場所

筆者はお墓に「お墓は、参拝者が、お墓でご先祖の遺骨に接し、自分も早晚確実に死ぬことを自覚し、参拝者が『人生回顧』をし、『言動修正』をする場所」という新しい目的を追加しました。

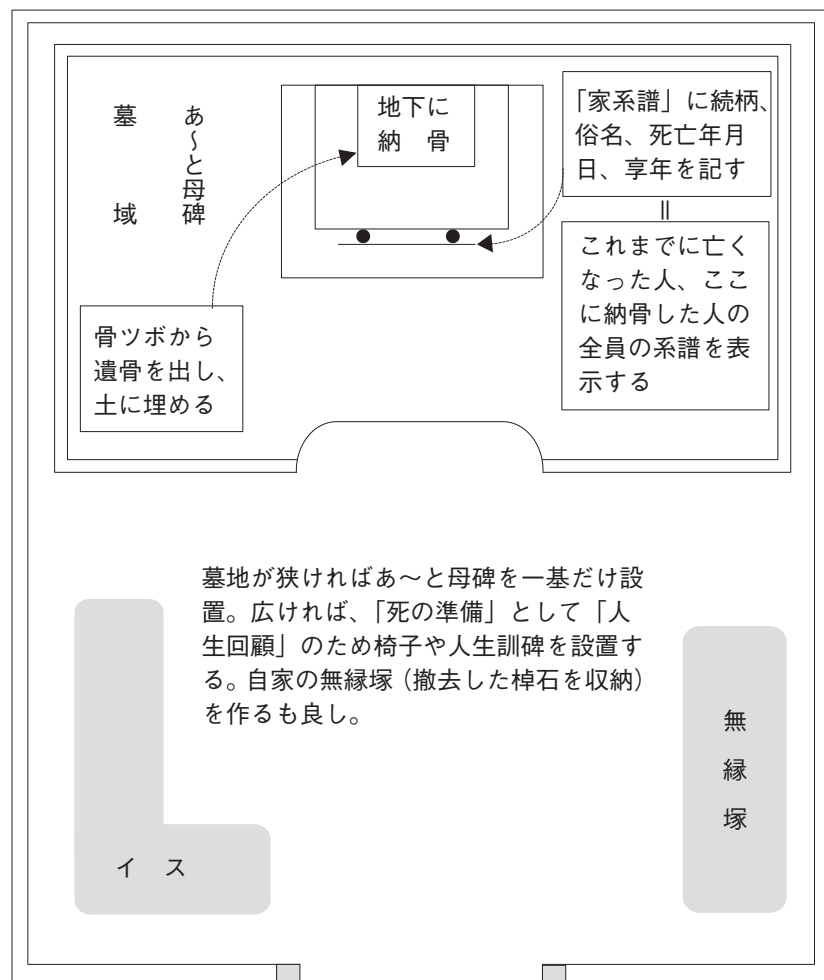
「人生回顧」はあの世での必須条件になっています。エンマ様が裁くのではなく、死んだ本人がこの世での行動のすべてを回顧し、自らが反省をします。自分自身で言動の善悪を受け止め、考えを改めれば、あの世に進めて、因果応報の場所に行くようです。

実は、この人生回顧を生きているうちにしますと、あの世でとまどわなくてもすみますし、生きているうちに人生回顧をすると、ただちに「言動修正」ができますから、軌道が良い方向に転換できるのです。

人生回顧の場所を設ける

墓地が広い場合には、左の写真の上のように、イスを置いて、参拝者が座って、自分の今の生き方の「人生回顧」をするスペースを設けます。「言動」に問題があれば、直ちに「修正」をします。

100 メンテフリーの「あ〜と母碑」配置図



墓地が狭ければあ〜と母碑を一基だけ設置。広ければ、「死の準備」として「人生回顧」のため椅子や人生訓碑を設置する。自家の無縁塚（撤去した棹石を収納）を作るもよし。

あ〜と母碑は現在意匠登録を申請中です。

- ★メンテフリーの「あ〜と母碑」は、母碑が1基、イスが1脚
- ★土の部分を残さず、床材を貼り付け、花台を台形の石にする
- ★SK系譜・SK意匠・SK回顧は好みにより工事をしてください

墓地が狭いケース

お寺の境内墓地のようにお墓を設置するだけの広さの場合には、「あ〜と母碑」のみ設置することになります。

現在のお墓でお困りのことがなければ、そのまま維持してください。建て替える必要はありません。

墓地が広いケース

新しいお墓の配置を左のように考えました。上から説明します。納骨はお墓の地下にカロートを設置して裏から入れるようにします。遺骨は骨ツボから出して土に埋めます。

棹部の前面に少し溝切りをして「陶板絵画」を貼りつけます(98項)。あるいは、アクリル板をネジ止めし、アクリル板の裏面にシートを貼ってシートには好みの文字、書、花や山の写真などをプリントします。

「あ〜と母碑」の前面に、「人生回顧」と「言動修正」をするスペースを設けます。イスを設置し、ゆっくり考える空間を確保しましょう。

メンテナンスフリーのお墓を作りました

筆者の墓地は公営墓地で、幅2.7m、奥行3mあり、少しゆとりがあります。

問題は土の部分です。冬場にはイノシシが掘り返し、たくさんのシャベルでさらったような跡が見られ、仕方なく、土の部分ブルーシートで覆うなどしておりました。夏は雑草が伸び放題で、処理には何十年も苦労させられるという、そのような困った状態の墓でした。

こんな墓にはうんざりして、何か良い方法はないかと考え、そこで、土の部分石の板か、他の床材へ変えることを検討し、今回、タイルで完全にコーティングをしました。

お墓の改葬と同時に、花立てや香炉も設置しない、メンテナンスフリーのお墓にしました。本書掲載のとおり完成しました。

コラム 10 陶板絵画の入手方法

	購入先	内容
購入する	大塚国際美術館 ミュージアムショップ	商品の数が少ない 55,000~165,000円
	インターネットによる検索 「陶板絵画の販売」	相当多数流通している
オリジナル制作 (絵画・書・写真)	有限会社 ミロク 高知市西秦泉寺414-5 アートセラミック加工	あらゆるものを陶板に加工
	有限会社 川田美術陶板 石川県白山市安吉町198 フォトセラミックス (写真陶板)	あらゆるものを陶板に加工
	大塚オーミ陶業 株式会社 大阪市中央区大手通3-2-21 大塚国際美術館の展示作品を制作	特別の発注で制作が可能

別にアクリル板に貼りつけるフィルムの制作は格安にできます。
巻末記載の妙合にご相談ください。